

TCPLink Enterprise Server
日本語 5250 エミュレータ
Ver6.08-01
リリースメモ

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer および Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

[Ver.6.08-01 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.6.08-01 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	以下の OS に対応 <サーバ> ・ Windows Server 2016 Standard Edition ・ Windows Server 2016 Datacenter Edition	機能追加	システム全般
2	以下の OS を動作対象から削除 <サーバ> ・ Windows Server 2008 Standard Edition SP2 (x86, x64) ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition SP2 (x86, x64) <クライアント> ・ Windows Vista Business SP2 (x86, x64) ・ Windows Vista Enterprise SP2 (x86, x64) ・ Windows Vista Ultimate SP2 (x86, x64)	仕様変更	システム全般
3	機能キーに End Field 機能キーを追加	機能追加	ディスプレイセ ッション
4	符号付き数字フィールド、および右寄せフィールドで下記の機能キーが押下された場合、フィールド内の文字列が右寄せされていなければ「操作員入力エラー」となるように変更 ・ PA キー ・ PF キー ・ 実行キー ・ Clear キー ・ ヘルプキー ・ ロールアップキー ・ ロールダウンキー ・ テスト要求キー ・ ホスト印刷キー	機能追加	ディスプレイセ ッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
5	<p>インストール時の機能変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インストーラの画面デザインを変更した ・ インストールされていないサービスを追加インストールできる機能を追加した ・ インストール完了時のサービスを開始するかどうかを選択可能とした ・ Windows Server の役割にインターネットインフォメーションサービスが追加されていない場合、インストールを続行するかどうかを選択可能とした <p>また、以下の制限事項を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セキュリティ対応版のバージョンアップを実施する場合、セキュリティ設定の内容を引き継ぐことができなくなったため、V6.08-01 のインストール後、再度同じ設定を行う必要がある 	機能追加	インストーラ／アンインストーラ
6	アンインストーラの画面デザインを変更した	仕様変更	インストーラ／アンインストーラ
7	<p>セキュリティ対応版で使用している暗号化ライブラリを「RSA BSAFE Micro Edition Suite」(MES) から「Security Support Provider Interface」(SSPI) に変更</p> <p><用語説明> SSPI 【 Security Support Provider Interface 】: Microsoft Windows においてセキュリティに関する様々な機能を提供する API</p>	仕様変更	セキュリティ

No	概要	VerUp 区分	変更区分
8	<p>セキュリティ対応版で、以下の機能を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起動中のセッションの TLS 通信で利用している証明書の表示 ・ セキュリティ設定で読み込ませた証明書、および CRL の内容表示 ・ クライアント認証のオプションで使用する CRL の複数登録 <p>クライアント認証のオプションで以下の機能のサポートを終了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハードウェアトークン ・ リポジトリの参照機能 ・ LDAP による失効確認 ・ OCSP による失効確認 ・ PKCS#8 形式の秘密鍵ファイルの読み込み <p><用語説明></p> <p>TLS 【Transport Layer Security 】</p> <p>CRL 【Certificate Revocation List 】： 証明書失効リスト</p> <p>LDAP 【 Lightweight Directory Access Protocol 】</p> <p>OCSP 【Online Certificate Status Protocol 】</p> <p>PKCS 【Public-Key Cryptography Standards 】</p>	機能追加	セキュリティ
9	<p>送受信ファイルタイプに下記形式を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ BIFF8 形式：Microsoft Excel 97-2003 (.xls) ・ Office Open XML 形式：Microsoft Excel (.xlsx) 	機能追加	データ転送

No	概要	VerUp 区分	変更区分
10	転送要求ファイルの形式に IBM i Access for Windows V7 の転送要求ファイル (dtt/dtf 形式) を追加 (読み込みのみ対応)	機能追加	データ転送
11	IBM i Access for Windows V7 の転送要求ファイル (dtt/dtf 形式) の読み込みで、サポートしていない設定を検出した際にエラーメッセージ、およびエラーログを出力	機能追加	データ転送
12	セキュリティ対応版でデータ転送を行う場合、クライアント側で設定する [接続先] のホスト名のエラーチェックをクライアントではなく、エントランスサービスで実施するように変更	機能追加	データ転送
13	データ転送パネル (送信) から [ファイルタイプを指定する] の設定項目を削除	仕様変更	データ転送
14	受信データ表示で画面がちらついたり、表示速度が遅い現象を修正	修正	ディスプレイセッション
15	操作員メッセージ行に表示されたメッセージを取消キーで消去した場合、または SAVE コマンド受信後に RESTORE SCREEN コマンドを受信した場合に、画面の一部に文字を入力できなくなる現象を修正	修正	ディスプレイセッション
16	エミュレータのプロパティで [フォント名] の設定にユニコードに対応していないフォントを指定すると、ホストからの「¥」 (半角の円記号) を受信する、または端末から「¥」を入力すると「・」で表示/印刷される現象を修正	修正	ディスプレイセッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
17	Field Exit 機能キーを入力してホストへ送信すると、送信不要なフィールドのデータがホストへ通知される現象を修正	修正	ディスプレイセッション
18	フィールド最終桁位置に文字入力した後、Field Exit 機能キーを押下すると、フィールド最終桁位置の文字が削除される現象を修正	修正	ディスプレイセッション
19	STARTPC コマンドを実行すると、アプリケーションエラーとなる現象を修正	修正	ディスプレイセッション
20	初回プリンタ起動時に出先が空になり、印刷できない現象を修正	修正	プリンタセッション
21	印刷文字が右にずれる現象を修正	修正	プリンタセッション
22	縦罫線が表示（印刷）されない現象を修正	修正	エミュレータコンポーネント/ エミュレータコントロール
23	ローカルコピーを実行すると、ディスプレイセッションのガイドラインに「お待ちください」が表示されたままとなり印刷できない現象を修正	修正	エミュレータコントロール
24	マクロコマンド使用時にホストからデータを受信すると、アプリケーションエラーとなる現象を修正	修正	HTML 変換

No	概要	VerUp 区分	変更区分
25	スタイル設定で、登録されているスタイルの削除を行うと、「HTTP 500 内部サーバーエラー」となる現象を修正 スタイル設定の上限を 300 とし、上限を超えてスタイルを作成しようとするエラーメッセージを表示するよう変更	修正	スタイル
26	バージョンアップインストール時にエラーが発生し、バージョンアップインストールに失敗する現象を修正	修正	インストーラ/ アンインストーラ
27	「ダウンロードしない」を設定しても、クライアントにモジュールの一部がダウンロードされる現象を修正	修正	インストーラ/ アンインストーラ
28	データ転送で最終行に改行がないテキストファイルを送信すると、最終行のレコードが送信されない現象を修正	修正	データ転送
29	データ転送パネル（受信）でファイルタイプが無変換で CCSID65535 変換がオンの場合に、形式記述ファイル（FDF）には「10」（EBCDIC）と出力するところを「3」（HEX）と出力していた現象を修正	修正	データ転送
30	形式記述ファイル（FDF）を使用しない日付／時刻フィールドへの送信で、送信実行がエラーとなる現象を修正	修正	データ転送

No	概要	VerUp 区分	変更区分
31	数値型フィールドのデータ転送（送信）の時、ファイルタイプが CSV 形式、ASCII テキスト形式、または SYLK 形式で、小数点以下の桁が省略されている場合、数値が正しく送られない現象を修正	修正	データ転送
32	データ転送パネル（受信）から設定される形式オプションの「日付形式」表示内容を修正	修正	データ転送
33	操作ログツールのアンインストール後、操作ログツールのプログラムメニューが削除されずに残る現象を修正	修正	ツール
34	操作ログツールのインストール後、初回の操作ログビューア起動時にエミュレーションの問い合わせがある現象を修正	修正	ツール
35	3270 エミュレータと 5250 エミュレータを含むクライアントインストーラを作成後、5250 エミュレータのみをインストールするとスクリプトマクロ関連のモジュールがインストールされない現象を修正	修正	ツール
36	操作ログツールのインストーラで、「プログラムフォルダ名の指定」画面でショートカットキー「Alt+P」が効かない現象を修正	修正	ツール

No.3	機能キーに End Field 機能キーを追加
詳細	<p>End Field 機能キーが押下されると、同じ非保護フィールド内の最後の有効文字の右にカーソルが移動する。</p> <p>ただし、最後の有効文字がフィールドの最終桁の場合は、フィールド内の最後の有効文字上にカーソルが移動する。</p>

No.14	受信データ表示で画面がちらついたり、表示速度が遅い現象を修正
発生条件	画面消去⇒描画の画面データを短時間で連続して受信する場合。
障害内容	受信データ表示で画面がちらついたり、表示速度が遅いと感じる。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.15	操作員メッセージ行に表示されたメッセージを取消キーで消去した場合、または SAVE コマンド受信後に RESTORE SCREEN コマンドを受信した場合に、画面の一部に文字を入力できなくなる現象を修正
発生条件	操作員メッセージ行に表示されたメッセージを取消キーで消去した場合、または SAVE コマンド受信後に RESTORE SCREEN コマンドを受信した場合。
障害内容	画面の一部に文字を入力できなくなる。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.16	エミュレータのプロパティで [フォント名] の設定にユニコードに対応していないフォントを指定すると、ホストからの「¥」（半角の円記号）を受信する、または端末から「¥」を入力すると「・」で表示／印刷される現象を修正
発生条件	<p>ディスプレイセッションの場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ディスプレイのプロパティ] - [基本設定] タブの [フォント名] の設定に、ユニコードに対応していないフォントが設定されている <p>プリンタセッションの場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリンタのプロパティ] - [基本設定] タブの [編集形式] の設定が「Windows プリンタドライバ」が設定され、[編集形式別設定] タブの [フォント名] の設定に、ユニコードに対応していないフォントが設定されている
障害内容	ホストからの「¥」（半角の円記号）を受信する、または端末から「¥」を入力すると「・」で表示／印刷される。
アップデート未実施時の回避策	エミュレータのプロパティで [フォント名] の設定に、ユニコードに対応しているフォントを設定する。

No.17	Field Exit 機能キーを入力してホストへ送信すると、送信不要なフィールドのデータがホストへ通知される現象を修正
発生条件	Field Exit 要求フィールド、右詰めフィールド、または符号付き数字フィールドで、対象フィールドの最終桁位置に文字を入力後、カーソル位置を移動することなく Field Exit 機能キーを押下した場合。
障害内容	送信不要なフィールドのデータがホストへ通知される。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.18	フィールド最終桁位置に文字入力した後、Field Exit 機能キーを押下すると、フィールド最終桁位置の文字が削除される現象を修正
発生条件	<p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <p><対象のフィールド> 「漢字フィールド または 混用フィールド」 かつ 「フィールド Exit 要求フィールド または 右詰めフィールド」</p> <p><操作> 対象フィールドの最終桁位置に文字を入力後、カーソル位置を移動せずに Field Exit 機能キーを押下した場合。</p>
障害内容	フィールド最終桁位置の文字が削除される。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.19	STARTPC コマンドを実行すると、アプリケーションエラーとなる現象を修正
発生条件	STARTPC コマンドで 8 個以上の引数を設定した場合。
障害内容	STARTPC コマンドを実行すると、アプリケーションエラーとなる。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.20	初回プリンタ起動時に出力先が空になり、印刷できない現象を修正
発生条件	<p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <p>プリンタセッションの場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OS が Windows 10 Anniversary Update(Version 1607)、または Windows 10 Creators Update(Version 1703)である ・ Windows 10 の設定で「Windows で通常使うプリンターを管理する」を一度もオフにしていない ・ Windows 10 Anniversary Update を適用後、その端末で印刷（エミュレータ以外も含む）を行っていない ・ プリンタセッションのプロパティを初回起動から一度も変更していない <p>ローカルコピーの場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OS が Windows 10 Anniversary Update(Version 1607)、または Windows 10 Creators Update(Version 1703)である ・ Windows 10 の設定で「Windows で通常使うプリンターを管理する」を一度もオフにしていない ・ Windows 10 Anniversary Update を適用後、その端末で印刷（エミュレータ以外も含む）を行っていない ・ ローカルコピーのプロパティを初回起動から一度も変更していない
障害内容	<p>プリンタセッションの場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷を行うと「印刷中にエラー検出」となり印刷できない <p>ローカルコピーの場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷が行われない
アップデート未実施時の回避策	<p>以下のいずれかの方法を行う。</p> <p>プリンタセッションの場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 10 の設定で「Windows で通常使うプリンターを管理する」をオフにする ・ Windows 10 Anniversary Update を適用後、エミュレータで印刷する前に、メモ帳などで一度印刷しておく ・ プリンタセッションのプロパティで出力先プリンタを設定する <p>ローカルコピーの場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 10 の設定で「Windows で通常使うプリンターを管理する」をオフにする ・ Windows 10 Anniversary Update を適用後、エミュレータで印刷する前に、メモ帳などで一度印刷しておく ・ ローカルコピーのプロパティで出力先プリンタを設定する

No.21	印刷文字が右にずれる現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・ プリンタのプロパティで、編集形式：「Windows プリンタドライバ」を設定 ・ プリンタのプロパティで、印刷開始桁：「2～9」を設定 ・ プリンタのプロパティで、印刷桁密度：「6/12CPI」以外を設定 （SCD 制御コードで印刷桁密度が「12CPI」以外を受信時も同様） ・ プリンタのプロパティで、罫線印字：「有効」を設定 ・ 印刷データに罫線が含まれている
障害内容	Windows プリンタドライバ形式で印刷を行うと、印刷文字が右に桁ずれする。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.22	縦罫線が表示（印刷）されない現象を修正
発生条件	全角文字の中央に縦罫線がある場合。
障害内容	縦罫線が表示（印刷）されない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.23	ローカルコピーを実行すると、ディスプレイセッションのガイドラインに「お待ちください」が表示されたままとなり印刷できない現象を修正
発生条件	<p>以下の条件を満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OS が Windows 10 Anniversary Update (Version 1607) 、または Windows 10 Creators Update (Version 1703) ・ エミュレータの利用形態がエミュレータコントロール ・ 出力先の設定が、「Microsoft Print to PDF」や「Microsoft XPS Document Writer」
障害内容	ローカルコピーを実行すると、ディスプレイセッションのガイドラインに「お待ちください」が表示されたままとなり印刷できない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.24	マクロコマンド使用時にホストからデータを受信すると、アプリケーションエラーとなる現象を修正
発生条件	<p>以下の条件を満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エミュレータの利用形態が HTML 変換 ・ 以下のいずれかのコマンドを実行するマクロを再生する（起動時マクロも含む） <ul style="list-style-type: none"> →TES.WaitText →TES.WaitString →TES.WhileText →TES.WhileString ・ 上記いずれかのコマンドがタイムアウトで終了し、マクロ再生が終了する ・ 上記のタイミングでホスト側よりデータを受信し、画面更新が発生する
障害内容	マクロコマンド使用時にホストからデータを受信すると、アプリケーションエラーとなる。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.25	スタイル設定で、登録されているスタイルの削除を行うと、「HTTP 500 内部サーバーエラー」となる現象を修正 スタイル設定の上限を 300 とし、上限を超えてスタイルを作成しようとする とエラーメッセージを表示するよう変更
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 ・エミュレーションに関係なく、TCPLink Enterprise Server 全体として、スタイル数が 99 以上ある ・スタイル設定からスタイルを削除する
障害内容	スタイル設定で、登録されているスタイルの削除を行うと、「HTTP 500 内部サーバーエ ラー」となる。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.26	バージョンアップインストール時にエラーが発生し、バージョンアップイン ストールに失敗する現象を修正
発生条件	バージョンアップインストールを行った場合。
障害内容	バージョンアップインストールの途中でエラーが発生し、完了できないことがある。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.27	「ダウンロードしない」を設定しても、クライアントにモジュールの一部が ダウンロードされる現象を修正
発生条件	以下の条件を満たしている場合。 ・サーバマネージャの [ユーザグループの設定] - [時間の設定] - [ダウンロード・ タイミング設定] で「ダウンロードしない」を設定する ・TCPLink Enterprise Server のバージョンアップを行う
障害内容	クライアントにモジュールの一部がダウンロードされる。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.28	データ転送で最終行に改行がないテキストファイルを送信すると、最終行のレコードが送信されない現象を修正
発生条件	複数レコードのテキストファイルで最終行のレコードに改行がない場合。
障害内容	データ転送で最終行に改行がないテキストファイルを送信すると、最終行のレコードが送信されない。
アップデート 未実施時の 回避策	テキストファイルの最終行のレコードに改行コードを付加する。

No.29	データ転送パネル（受信）でファイルタイプが無変換で CCSID65535 変換がオンの場合に、形式記述ファイル（FDF）には「10」（EBCDIC）で出力するところを「3」（HEX）で出力していた現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・データ転送受信 ・データ転送パネルの PC ファイルの詳細設定画面でファイルタイプ：無変換を設定 ・オプションのコードテーブル定義のオプションで CCSID65535 変換：オンを設定 ・受信データのフィールドがフィールドタイプ CHAR 型、および CCSID が 65535 のデータ
障害内容	データ転送受信の場合に、形式記述ファイル（FDF）に「10」（EBCDIC）で出力するところを「3」（HEX）で出力していた。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.30	形式記述ファイル（FDF）を使用しない日付／時刻フィールドへの送信で、送信実行がエラーとなる現象を修正
発生条件	以下の条件を満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none">・ 送信データに日付、または時刻が含まれている・ 形式記述ファイル（FDF）を使用しないで送信している・ 送信するデータの日付、および時刻のフォーマットが直前に送信したデータのフォーマットと異なっている
障害内容	形式記述ファイル（FDF）を使用しない日付／時刻フィールドへの送信で、エラー：0xFFFFFFFF4Bが発生する。
アップデート 未実施時の 回避策	送信データの正しいフォーマットが記載されている形式記述ファイル（FDF）を使用して送信する。 形式記述ファイル（FDF）がない場合は、一度受信を行って形式記述ファイル（FDF）を作成する。

No.31	数値型フィールドのデータ転送（送信）の時、ファイルタイプがCSV形式、ASCIIテキスト形式、またはSYLK形式で、小数点以下の桁が省略されている場合、数値が正しく送られない現象を修正																											
発生条件	<p>以下の条件を満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データ転送送信 ・ ファイルタイプにCSV形式、ASCIIテキスト形式、またはSYLK形式のいずれかが設定されている ・ 小数点付きの数値型フィールドに小数点以下の桁が有効桁数分設定されていない 																											
障害内容	<p>データ転送時、数値が正しく送信されない。</p> <p>数値型フィールドのデータ転送時、小数点以下の桁数を調整せず送信していたため、数値の桁がずれて送信していた。</p> <p>例えば 小数点以下を2桁と仮定した場合。</p> <table border="1" data-bbox="419 898 762 1312"> <thead> <tr> <th><設定値></th> <th><誤></th> <th><正></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.3</td> <td>0.03</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>0.03</td> <td>0.03</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.03</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>0.30</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>3.00</td> <td>3.00</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>0.30</td> <td>30.00</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>3.00</td> <td>300.00</td> </tr> <tr> <td>3000</td> <td>30.00</td> <td>3000.00</td> </tr> </tbody> </table>	<設定値>	<誤>	<正>	0.3	0.03	0.30	0.03	0.03	0.03	3	0.03	3.00	3.0	0.30	3.00	3.00	3.00	3.00	30	0.30	30.00	300	3.00	300.00	3000	30.00	3000.00
<設定値>	<誤>	<正>																										
0.3	0.03	0.30																										
0.03	0.03	0.03																										
3	0.03	3.00																										
3.0	0.30	3.00																										
3.00	3.00	3.00																										
30	0.30	30.00																										
300	3.00	300.00																										
3000	30.00	3000.00																										
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。																											

No.35	3270 エミュレータと 5250 エミュレータを含むクライアントインストーラを作成後、5250 エミュレータのみをインストールするとスクリプトマクロ関連のモジュールがインストールされない現象を修正
発生条件	<p>以下の手順を実行した場合。</p> <p>①クライアントアドミニストレーションキットにて、3270 エミュレータと 5250 エミュレータを含むクライアントインストーラを作成。</p> <p>②クライアントインストーラによるインストール時、「カスタムインストール」を選択し、「5250」のみを選択してインストール。</p>
障害内容	スクリプトマクロ関連のモジュールがインストールされない。
アップデート 未実施時の 回避策	<p>以下のいずれかの方法を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドミニストレーションキットで 5250 エミュレータ単体のクライアントインストーラを作成する ・アドミニストレーションキットで 3270 エミュレータと 5250 エミュレータを含むクライアントインストーラを作成した場合は、3270 エミュレータと 5250 エミュレータの両方ともインストールする

No.36	操作ログツールのインストーラで、「プログラムフォルダ名の指定」画面でショートカットキー「Alt+P」が効かない現象を修正
発生条件	操作ログツールのインストーラにて、「プログラムフォルダ名の指定」画面で「Alt+P」を押下した場合。
障害内容	カーソルが「プログラムフォルダ名 (P) :」の入力エリアへ移動せず、次の画面（エミュレータの選択画面）へ移動する。
アップデート 未実施時の 回避策	プログラムフォルダを入力する場合、マウス、または TAB キーでカーソルを移動する。